生産技術レポート No.154

製造現場で役立つ!「広島生産技術セミナー」メカトロ編

2018年6月27日㈬ 工具の基礎セミナー

日　時　2018年6月27日㈬　受付13:00～ 講座13:30～16:30
会　場　広島市南区民文化センター 大会議室A（広島市南区比治山本町16番27号）
参加社　25社
参加人数　56名

講師
京都機械工具株式会社
広島営業所長　文字 陽平 氏

講師
Joyful喜一ホールディングス株式会社
グループ特販部長　平井 義郎 氏

広島地区の製造業25社56名にご参加いただきました

トルクテスタによるトルクレンチの締結実験。正しい位置で持ち、正しく力をかけないとオーバートルクに

最新のデジタル式トルクレンチ等様々な種類の工具を展示しました

研修後テストに真剣に取り組む参加者

「誰も教えてくれなかった工具の基礎セミナー～正しいハンドツールの使い方とトルク管理」をテーマに、広島市南区民文化センター大会議室において広島生産技術セミナーを行いました。広島地区より25社56名の参加があり、工具の基礎とトルク管理の重要性を学びました。

まずはKTC京都機械工具㈱による正しいハンドツールの使い方講座です。様々なハンドツールが紹介され、各ツールの種類、呼び方、持ち方の説明があり、ビデオを使って正しい使い方と間違った使い方を学びました。工具にはそれぞれの作業に適した使い方があり、使用方法を誤ると、工具の変形や破損、また製品の不良が発生する恐れがあるということです。例えばインチサイズのボルトにミリサイズのソケットを使用する、またスパナにパイプを通して強く締めるなどが紹介されました

続いて喜一工具㈱によるトルク管理の講座として、トルクの定義、ボルト緩みの原因、ボルト締結のメカニズム、ボルトの締め過ぎによる問題などを学びました。ボルトの締結は、ボルトを締め過ぎて適性締付範囲を超えると、ボルトが元に戻ろうとする力が無くなり、それ以上はボルトが締まりにくく、さらに力を加えると破断します。目一杯力任せに締めるのではなく、適正なトルクで締め付けることが重要ということを学びました。

参加者からは、「ドライバーは押す力と回す力が7:3ということを初めて知り生かしていきたい」、「モンキーレンチの回す方向を今まで反対方向で使っていた。工具の破損につながるので早速明日から改善し、また社内で広めたい」、「今日学んだ正しい工具の使い方を社内教育で教えたい」、「トルクのことは今まで気にしていなかったので大変驚いた」、「工場内での重要な工程にはトルク管理を導入したい」などの感想をいただきました。

地域に密着! 生産技術商社
Mitsuya ミツヤ産業㈱
呉　本　社　TEL(0823)21-8111　FAX(0823)25-1226
東広島営業所　TEL(082)421-4126　FAX(082)421-4128
福山営業所　TEL(084)932-2438　FAX(084)926-3137